

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 28.3.18 第 190 回国会第 4 号

3 月 18 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法の一部を改正する法律案（内閣提出第 8 号）

- ・ 林経済産業大臣、星野経済産業大臣政務官、鬼木環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民維ク、公明、共産、おおさか）

（質疑者及び主な質疑内容）

岡 下 昌 平君（自民）

- ・ 京都クレジットの取得業務において、クリーン開発メカニズム及びグリーン投資スキームに係るプロジェクトをどのように実施してきたか検証及び総括を行う必要があると考えるが、経済産業省は個々のプロジェクトの詳細及び進捗状況を把握しているか。
- ・ 二国間クレジット制度（以下「JCM」という。）は、我が国が掲げた温室効果ガス削減目標（2030 年に 2013 年比 -26%）の積み上げの基礎とされていないが、今後パリ協定の下で JCM をどう位置付け、どのようなルール作りをしていくのか、経済産業省の見解を伺いたい。

大 畠 章 宏君（民維ク）

- ・ 地球温暖化問題について、世界最大の温室効果ガス排出国である中国と連携してアジア全体の取組を進めていく必要性について、林経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・ 日立市において、地域住民に事前説明がないまま進められている太陽光発電所の建設工事に関連して、事業者が十分な説明責任を果たすよう政府の指導等が必要であるとするが、林経済産業大臣の見解を伺いたい。

伴 野 豊君（民維ク）

- ・ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）が実施してきた個々のプロジェクトについて、情報公開及び評価分析を行う必要があると考えるが、林経済産業大臣の決意を伺いたい。
- ・ JCM を活用していくに当たり、環境省、経済産業省そして外務省等の関係省庁が連携し、我が国の外交戦略として取り組んでいく必要があると考えるが、外務省の考えを伺いたい。

升 田 世喜男君（民維ク）

- ・ これまで実施されてきた NEDO による京都クレジットの取得事業の結果について、経済産業省の評価を伺いたい。
- ・ 温室効果ガス削減に向けた国民の理解をさらに促進するため、我々議員が率先して行動を起こすべきと考えるが、林経済産業大臣の取組への決意を伺いたい。

落 合 貴 之君（民維ク）

- ・ 京都クレジット取得事業に関する予算額及び執行額の累計並びにその差分の整理の仕方について伺いたい。
- ・ 約 9,749 万トン分締結されたとされる京都クレジットに関して、実際に削減された温室効果ガス削減量は京都クレジットによる取得量と同じかどうか伺いたい。

真 島 省 三 君 (共 産)

- ・電力業界の京都議定書第一約束期間における排出削減自主目標の達成状況について伺いたい。
- ・鉄鋼業界での労働災害死亡事故が増加傾向にあることについて、業界を所管する林経済産業大臣の認識を伺いたい。

木 下 智 彦 君 (お お さ か)

- ・NEDOが実施している研究開発型ベンチャー支援事業の概要を伺いたい。
- ・NEDOの研究開発事業が起業家に対してより効果的な支援策となるよう内容を検討していくことが重要と考えるが、林経済産業大臣の認識を伺いたい。